

# 北の大地、札幌から、いま新しい風が吹いてくる。

自らの裡なるエネルギーのもと「0-1テスト」だけを術として事業に取り組んできた男がいる。  
北の大地札幌にその人ありと知られたまほろば店主宮下周平がお届けする、  
本州初の「0-1テスト(ゼロワンテスト)」講習会です。  
ゴールデンウィークの真ただ中、乱世を生き抜く智慧を学びにいらっしゃいませんか。  
当日は振動性音響ヒーラー、アルケミー・クリスタルボウル奏者の牧野持侑のライブと  
安全でおいしいKanbutsu Cafeのお料理もご用意いたしております。  
清々しいお寺の大広間でごゆっくりと、ためになる楽しい一日をお過ごしください。

「0-1テスト」とは大村恵詔先生が開発した「Bi-Digital O-リングテスト」を元に、  
宮下周平氏が確立した独自のメソッドです。

## ◎タイムテーブル

### 【1部：講習会】

★12時30分～約10分間

参加者のエネルギーチェンジを目的とした牧野持侑によるアルケミー・クリスタルボウル演奏。

★12時50分～17時

宮下周平・洋子による「0-1テスト」講義

★基礎編☆☆宮下周平★

「Bi-Digital O-リングテスト(BDOT)」

との出逢い

「0-1テスト」法の発見

「BDOTと0-1テスト」の違い

「0-1テスト」の哲学と背景

「0-1テスト」の習得法

「0-1テスト」の応用と実際

★応用編☆☆宮下周平★

食と健康について

食の0-1テスト的分類のご紹介

人体の代謝能力の実験

人体に不足している栄養素と摂り過ぎ

ている栄養素の実験

自然食と不自然食の違い

空腹時と満腹時の違い

季節による代謝能力の変化

年齢による " "

性別による " "

食の与える影響の大きさの実験

想念の与える影響の " "

「0-1テスト」の生命観

### 【夕食タイム】

★17時～17時40分

### 【2部：ライブ】

★17時50分～18時50分

牧野持侑のアルケミー・クリスタルボウル演奏。

### 【親睦会】

★19時20分～21時20分

お料理はお弁当と同様、Kanbutsu Cafe制作によるナチュラルフードです。

## 「0-1テスト(ゼロワンテスト)」講習会に寄せて

### ★有岡 眞★

あれはいつごろでしたでしょうか。宮下さん夫妻が、早稲田で開かれた大村先生のノーベル賞候補選出の祝いの例会に出てこられたのです。そのときに、初めてO-リングをしてもらいました。

夫婦でやるO-リングはあまりに早いのに驚きました。

会場では一般の方が「どうして食品の検査に使ってはいけないんだ」と質問が相次ぎました。

大村先生はO-リングの広がりによって慎重になっていたようで、O-リングは医者だけの資格にしました。それで宮下さんは「0-1テスト」になったのです。

そのとき思ったのは、世界を見るマトリックスが必要なこと。媒体になる人はすぐに無心(無我の境)になれる人であること。そのためには繰り返し訓練を受けなければいけないなあということでした。

### ★上野圭一★

"O-リングテスト"と呼ばれてきた反射テストは、開発者の大村先生によって、医師以外の者の利用が封印されました。しかし、現実にはさまざまな名称のもとに、医師以外の多くの人たちが利用しています。この事実は、人体という敏感なセンサーを診断に応用することの有効性を裏づけています。正確にいうならば、敏感なのは人体の物質的側面(つまり肉体)ではなく、エネルギー的側面、すなわちエネルギー身体(微細身体)なのですが。

エネルギー身体はまだ科学の目では明らかにされていません。とはいえ、その存在は世界の伝統医療や神秘学では広く知られています。

この断絶が、封印という不幸な事態を招いているともいえます。

エネルギー身体は想念や感情に直結しているため、テストのチャネル(通路)役を果たす人のこころの状態によって結果が左右されます。

有岡さんの『くりかえし訓練を受けなければ』という見解に、ぼくも同意します。

当日は会場でエリクサー水を体験して頂くことができます。

■まほろば 札幌の自然食品店「まほろば」は1983年の開業以来「0-1テスト」に合格した生命力の高い農産物や食品、雑貨など3,000品目以上を取り扱ってきました。本店より10分の裏山に、7.6haほどの自然農園をもち、年間160種類以上の作物を生産しています。美味しく、生命力に富んだ新鮮な朝どり野菜を毎日供給し、年々人気上昇中です。(自家採取・露地栽培・不耕起・半耕起・完全無農薬無化学肥料)その豊かな素材を加工する工房や、料理を出すレストラン、パンやケーキを焼くベーカリー「Bio Softeria (ピオ ソフテリア)」も店内に併設しており、小さいながらも、豊かな食の循環が見えて来ました。これらは、老子が説く平和の原理「小国寡民」の自給自足・産地地消の最小モデルを、生産、流通、消費の地域循環型として、ここに実現したものです。

さらに、浄水器「エリクサー」を自主制作しており、多くの不思議な現象、確かなデータで世界的な評価も得て来ました。その他、「0-1テスト」によって天然やオーガニックのみの原材料で創られた香水、化粧品、健康食品、調味料など様々なオリジナル商品を世に送り出して来ました。

毎週発行する「まほろばだより」は一回に2~10枚もの情報を25年間出し続け、3000号以上を刊行してお客様との絆としております。毎月、講演会・演奏会などのイベントも開催してコミュニケーションを図り、広く啓蒙活動を行っています。

まほろばは単に、自然食品という物の売上のみにとどまらず、生産と流通と消費、食と文化、身体と霊性、個人と社会、自然や宇宙との関わりなど、各要素が全体で有機的に連なり、互いが相補、相乗効果をもたらせながら、生活全体の広がりや質の向上、自然への帰属、世界の融合を緩やかに目指す有機的連合体です。(まほろば主人宮下周平敬白)